

令和8年度 伊佐市認知症講演会を開催

令和8年7月11日、伊佐市大口文化会館にて鹿児島県若年性認知症コーディネーター堀之内広子氏、「全国認知症希望大使」戸上守氏、有限会社なでしこ代表取締役 吉川浩之氏をお招きし、認知症講演会を開催しました。



堀之内 広子氏より「若年性認知症～知ってもらって共に歩く」をテーマに、講演していただきました。若年性認知症は、働き盛りや子育て世代で発症することも多く、ご本人だけでなく家族への支援や周囲の理解が欠かせません。参加者からは「改めて正しく知ることができた」「他人事ではないと実感し、コミュニティと関わる大切さを再認識した」といった声が寄せられました。

認知症と共に生きる戸上 守氏、見守り支える吉川 浩之氏からは「わたくし、認知症ですが、なにか？」をテーマにご講演いただき、ご本人が語る言葉は、参加した方々の心に深く響くものとなり、「周りの環境が整えば、何でもできる」「認知症になっても想いがあり、誰かの役に立つことができる」と多くの気づきの声が寄せられました。

『認知症になったら何もできなくなる』のではなく、その人らしく輝き続けることができる。そんな大切な気づきと勇気をいただく貴重な時間となりました。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、これからも地域のつながりを大切に、共に歩んでいきましょう。



講演会のあとは

出張!おれん家カフェ～かたり場～開催

講演会終了後、別室にて認知症カフェを開催しました。講演の余韻が残る中、講師の皆様や参加者の皆さまで淹れたてコーヒーを飲みながら「和やかな交流のひとときを過ごしました。」



キャラバンメイト連絡会を開催

令和8年7月28日、オフィス藤田有限会社取締役 古城 順子氏をお招きし、「出会いを大切に 人生を豊かにするはたらきかけ」をテーマに開催しました。

家族のストレスや支援方法について実体験を交えてお話しいただき、尊厳を守る関りの大切さを学びました。また「行方不明者発見時の声掛けについて」「自分が認知症になったら」についてグループワークを行い、「もし自分なら」の視点で相手の気持ちに寄り添う声掛けやサポートの形を共有しました。



【お問い合わせ】

大口地域包括支援センター ☎23-2377

菱刈地域包括支援センター ☎26-1307

過去の認知症地域支援推進員だよりは、伊佐市ホームページでご覧いただけます。